

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.9
Q-1 室内環境			0.40			3.5
1 音環境		3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.7	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能	遮音性能T-1もしくはT-2	4.0	0.40	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	スラブ厚150mm+モルタル+直貼木質床材(合計厚210mm)	4.0	0.15	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	スラブ厚150mm+モルタル+直貼木質床材(合計厚210mm)	4.0	0.15	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温設定		3.0	0.60	3.0	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
4 ソーン別制御性		3.0	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御	器具列毎のリモコン制御	5.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学物質汚染	全面的にJAS規格☆☆☆☆以上を採用	5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.6	0.30	-	-	
1 換気量	建築基準法を満たす1.4倍以上の換気量(ビル管法対象外)	5.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	全域禁煙エリア	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.9
1 機能性		4.0	0.40	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の利用者円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-	
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画	意匠性、機能性、照明計画等を内観パース作成により事前検証	5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.7	0.31	-	-	3.7
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
1 耐震性	重要度係数1.25を採用	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		4.1	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁躯体の外側にレンガ積み	5.0	0.29	-	-	
2 内面仕上材と壁材の面材の面材	壁材と、ブリアカーボード、ナシ合板等	5.0	0.33	-	-	

	3.3 設備の更新性			4.4	0.38	-	-	
	1	空調配管の更新性	設備置場を本体建物から独立設置、室外機はテラスにまとめて設	4.0	0.17	-	-	
	2	給排水管の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	4.0	0.17	-	-	
	3	電気配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11	-	-	
	4	通信配線の更新性	パイプスペースの集約化、点検口(床、天井、PS)を適宜設置	5.0	0.11	-	-	
	5	設備機器の更新性	設備置場を本体建物から独立設置、室外機はテラスにまとめて設	5.0	0.22	-	-	
	6	バックアップスペース	設備置場を本体建物から独立設置、室外機はテラスにまとめて設	4.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	4.7
1 生物環境の保全と創出			グラウンド等の屋外運動施設を除き可能な限り緑化整備を行う	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			周辺地域からの比叡山を見え方に配慮	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				5.0	0.30	-	-	5.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			街路樹の整備(保存、移植、新植)、歩道の拡幅	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			緑化整備、ピロティを設置	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性								4.0
LR-1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.5
1 建物の熱負荷抑制			屋根、外壁に外断熱施工	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			個別空調方式採用による搬送動力の軽減	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用				4.5	0.20	-	-	4.5
4.1 モニタリング			主要システムの効率性能評価を行う	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			年間エネルギー消費量の目標値を計画	5.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60	-	-	
1			雨水利用システム	3.0	0.67	-	-	
2			雑排水利用システム	3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材				3.4	0.85	-	-	3.4
2.1 資源の再利用効率				3.0	0.35	-	-	
1			躯体材料の再利用効率	3.0	0.67	-	-	
2			非構造材料の再利用効率	3.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料				3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用				3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			仕上材と躯体が分別可能。PS、EPSの集約化	5.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避				3.3	0.18	-	-	
1			消火剤	4.0	0.33	-	-	
2			断熱材	3.0	0.33	-	-	
3			冷媒	3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境				-	0.30	-	-	4.0
1 大気汚染防止			大気汚染防止法の対象施設を設置していない	4.0	0.15	-	-	4.0
2 騒音・振動・悪臭の防止				4.3	0.15	-	-	4.3
2.1 騒音			規制基準より10dB以下に抑えられている。	5.0	0.33	-	-	
2.2 振動			規制基準より5dB以下に抑えられている。	5.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭				3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			広告塔なし。外壁レンガ積み(ガラス窓部には庇、屋根を設置)	5.0	0.10	-	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善			植栽帯(低、中、高木)の整備、パーゴラ、ピロティ、庇の設置	4.0	0.30	-	-	4.0
6 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.15	-	-	4.0
6.1 雨水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制			駐輪場、緊急車両、メンテナンス車両動線の整備	5.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷			一団地区域内に分別可能なストックスペースを計画	5.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分
		7649 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの	5.0	-	-	-	5.0
	高効率化	-	-	-	-	
3.1	空調設備	5.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	4.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-